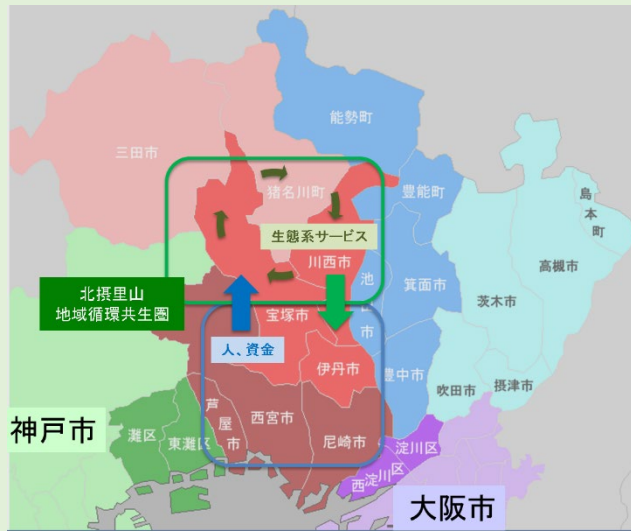


～ありたい未来～

都市部⇔農村部で人、資金、生態系サービスの循環を形成し、自立・分散型社会を目指す

【北摂里山地域の主な課題】

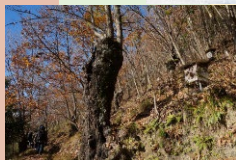
- 1. 里山林の荒廃**
里山の放置林化、林業の担い手不足、木材利用の低下
- 2. エネルギーの外部依存**
地域の自然エネルギー活用計画の必要性
- 3. 地域交通の弱体化**
住民の高齢化、交通弱者の増加、公共交通の利便性の低下
- 4. 地域のコーディネーター不足**
市町域の枠を超えた計画策定や関係者間の調整の必要性



【地域資源と取組】

里山の保全と森林資源の利活用

- ・森林ボランティア等を活用した間伐・択伐、植林、木材の加工と販売、薪・チップの熱需要の開拓
- ・間伐等の支援を必要とする山主と森林ボランティア等のマッチング



ビジョン

地域の小さな自立定住圏へ

- ・里山の保全
- ・木質バイオマスの利活用
- ・エネルギーの地産地消
- ・地域交通の整備による住民及び観光客の利便性向上
- ・地域通貨の発行によるサービス間の連携
- ・交流人口や観光客の増加
- ・地域経済の活性化

地域交通システムの構築

- ・地域交通拠点へのグリーンスローモビリティ及び電動アシスト付自転車の導入等による住民の利便性及び観光客のアクセス力の向上
- ・観光客の増加による地域経済の活性化



自然エネルギーの活用

- ・遊休農地の活用、市民農園としての利用
- ・太陽光発電、小水力等の災害時・非常時の電源としての利用
- 再エネ宣言RE Action*参加企業等への再生可能エネルギーの供給源へ

サービス間・市町間の連携

- ・木の駅プロジェクトの実施による地域通貨での間伐材等の購入補助
- ・他の地域団体（地銀、エネルギー会社等）との連携



地エネと環境の
地域デザイン

出所（写真とロゴ）：神戸新聞社

※自治体、教育機関、医療機関や、企業（※年間消費電力量が10GWh以下の企業）など、あらゆる需要家団体が、使用電力の再生可能エネルギー100%化宣言を表明し、共に行動を示していくイニシアティブ

【今年度成果】

県有環境林の管理、利活用方法についての提案
域内の熱需給に基づいた木質バイオマスエネルギーの事業モデル検討案作成